

北豊島工科高校 図書館だより



春の訪れを感じる季節となりました。今年度も残すところあとわずかですね。1.2年生の皆さん、この1年間、本にふれあう時間はありましたか？北豊島工科高校図書館は、いつでも皆さんを待っています。今月の図書館前廊下展示ケースの特集は「一年間のおすすめ本 本の世界へ、出かけよう」です。

(北豊島工科高校図書館 高木 千里)

特集展示「一年間のおすすめ本 本の世界へ、出かけよう」



『一年間のおすすめ本 本の世界へ、出かけよう』

今年度も北豊島工科高校図書館では新たに約700冊の本を購入しました。一年間の新しい本の中から、特におすすめの本を選びこのコーナーに展示しています。ここにある本が、皆さんの未来へのとびらを開くことにつながるかもしれません。展示ケースの中にある本も貸出可能です。気になる本があったら気軽に声をかけてください。

北豊島工科高校図書館から、本の世界へ出かけてみましょう。



特集展示からのおすすめ本



「源氏物語」 Gakken
紫式部 Teamパンミカ



ウクライナー 岡本朋子



トマ・ペスケ



「あなたが誰かを殺した」 講談社
東野圭吾



「まちづくりの仕事ガイドブック」 学芸出版社
饗庭伸 小泉瑛一



「本にまつわる世界のことは」 創元社
温又柔 斎藤真理子

「大ピンチずかん 大ピンチずかん2」
 鈴木のりたけ 作 //小学館 //E726 ス

2023 年年間ベストセラー第 1 位の作品。とにかく楽しい絵本です。世の中の様々な大ピンチを紹介し、その対処法もときあかしています。思わずふきだすこと間違いなしです。



「月の立つ林で」
 青山美智子 著 //ポプラ社 //913.6 ア

2023 年本屋大賞ノミネート作品。連作の短編集です。それぞれの物語の登場人物が、次の短編にも登場します。思い通りにならない自分にイライラした時に勇気をくれる、そんな物語です。月はいつでもだれにでもやさしい存在ですね。



「コーダ きこえない親の通訳を担う子どもたち」
 中津真美 著 //金子書房 //369.2 ナ

コーダとは、耳が聞こえないまたは聞こえにくい親の元で育つ子どものことです。2025 年、東京で耳の聞こえないアスリートのためのオリンピック=デフリンピックが開催されます。みなさんもコーダに寄りそい、一緒にデフリンピックを盛り上げましょう。



「このライトノベルがすごい 2024」 910.2 タ
 「このミステリーがすごい 2024」 901.3 タ
 //宝島社

本を読みたいと思っても、どんな本を読んでよいのかわからないというみなさんへ。北豊島工科高校図書館には気軽に読めるライトノベルやミステリーがたくさんあります。この 2 冊を参考にして、ぜひ実際に手にとって読んでみましょう。



【北豊島工科高校図書館からのお知らせ】

春休み中の図書館は、4月5日（金）まで休館となります。それ以降については、図書館前のカレンダーで開館日時をお知らせします。

3月12日（火）より、春休み貸出を行います。ひとり20冊まで貸出可能です。春休み、たくさん本を読んでくださいね。

